

研究所だより

今年の札幌は、例年にない積雪で、交通機関も大きな影響を受けました。コロナ禍の影響もあり、JR北海道は全21区間で赤字が続いています。北海道の地方部では過疎化が進展していることから、地域の持続的なモビリティを確保していくためには、どの様な交通体系が相応しいのか、鉄道事業者と地域が一緒になって知恵を出していくことが求められています。ところで、60年ほど前の北海道には4,200kmを超える鉄路が敷設されており、森林鉄道やてん菜を運ぶ鉄道も有りました。当時の国鉄の道内旅客収入は、人口比と同じ5%でしたが、石炭をはじめ、木材や農産物などが、列車で内地に輸送されていましたから、貨物収入は全国の18%近くを占めていました。その後、道路網の整備等を背景に、鉄道貨物の取扱量も減少していきませんが、現在でも道内農産物の約3割が鉄道コンテナで全国の市場に運ばれています。地方交通の刷新に取り組むと共に、JR貨物も含めた全国的なレベルでの物流ネットワークのあり方については、脱炭素社会の実現から要請される省エネルギー化や、トラック運転手の確保問題等も勘案しながら検討していく必要があるのではないのでしょうか。とは言え、当面は、旅客数の復活を目指すことが重要です。北海道の春から夏にかけての季節はとても短いのですが、その分、道内の何処に行っても、生命の煌めきが日々増していくのを目にすることができます。JR北海道2,370kmの旅のメニュー（時刻表）が付いている2022年用手帳が好評発売中です。この手帳を携え、感染対策もしながら、道内各地を巡る鉄道の旅を楽しんでいただけたらと思います。（黒崎）  
「JR北海道時刻表付き手帳2022」(A6 ポケットサイズ) キヨスクや道内主要書店でお買い求めいただけます。  
お問い合わせ先：(株)交通新聞社北海道支社

国営滝野すずらん丘陵公園

4月29日(金・祝)～6月5日(日)

きのたんの大冒険

中心ゾーンで、家族みんなで楽しめるクイズ形式のラリーを開催します。滝野公園内にあるといわれている不思議なチューリップを見つけるイベントです。小学校低学年までのコース、小学校高学年以上を対象とした2コースがあり、それぞれ全問正解者の中から抽選で記念品をプレゼント。各コースともに4問あり、ぜひ謎を解いてゴールを目指してください。

- 参加費 無料（駐車料金は別途）
- 場 所 中心ゾーン（解答用紙配布場所：東口ゲート、中央口ゲート）
- 時 間 9:00～17:00

4月29日(金・祝)～6月12日(日)

パンジー・ビオラフェスタ

今年はバスターミナルをテーマに「見る」修景から「憩う」修景にデザインし皆さまをお出迎え。お子さんから大人までいろいろな方楽しんでいただける滝野の春の新しいフォトスポットです。

- 参加費 無料（駐車料金は別途）
- 場 所 東口休憩所前
- 時 間 9:00～17:00

4月20日(水)～11月10日(木)

ノルディックウォーキング100kmコンペ

グリーンシーズン期間中通算で100kmウォーキングを目指すコンペを開催しています。達成者には賞状などの記念品を進呈します。自然豊かな園内を健康づくりや運動不足の解消に歩きましょう。

- 参加費 無料（駐車料金は別途）
- 場 所 受付場所：案内所、東口ゲート、森の交流館
- 時 間 9:00～17:00

※詳細は当公園ホームページ（URL：<http://www.takinopark.com/>）をご覧ください。滝野公園案内所（011-592-3333）までお問い合わせください。



●「開発こうほう」へご意見・ご感想をお寄せください。

（一財）北海道開発協会広報研修出版部

〒001-0011

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル

電話 011(709)5212

e-mail:pr@hkk.or.jp

●「開発こうほう」は、北海道開発協会のホームページでもご覧になれます。

●（一財）北海道開発協会では、賛助会員を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

開発こうほう 第704号 令和4年3月31日発行

発行 （一財）北海道開発協会

印刷 （株）須田製版 不許複製

<https://www.hkk.or.jp/>